



# やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12 : 30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司  
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

## クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第38回 通算1246回 平成24年4月17日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/3 修正出席率
		55名	33名	67.3%	100%

ゲスト：(なし) ビジター：古澤武雄さん(岡崎RC)

### 会長あいさつ

### 山城康司会長



こんにちは。北朝鮮でミサイルが発射され、失敗しました。アフガニスタンでは、日本大使館にロケット弾が撃ち込まれました。国内でも原発の再稼働の問題があります。

今日は、論語から。子曰く、「参や我が道は一以って之を貫く」。曾子曰く、「唯」。子出ず。門人問いて曰く、「何の謂ぞや」。曾子曰く、「夫子の道は忠恕のみ」です。意味は、孔子先生がおっしゃった。「曾参よ、わたしの道は、一筋の道で貫かれている」。曾子は「はい」と答えた。孔子先生が出てゆかれると、弟子が質問して言うことには、「どういう意味ですか」曾子が答えて言うには、「孔子先生の道は、いつも一貫しており、忠恕の心だけなのです」。つまり、生きていく上で大切な、ただひとつのものとは何でしょう。それは真心のこもった思いやりの心です。どんな時にも誠実で、自分のことと同じくらい他人のことも考えられる人になりましょう。まさに、今、日本に、世界に必要なことです。

### 幹事報告

### 大木健市副幹事

例会臨時変更のお知らせ  
次回例会について

### 地区協議会報告

### 全体&第1分科会報告 高桑耐次年度会長

日曜日に地区協議会がありました。実は地区協議会が始まってすぐにハブニン



グがありました。点鐘の鐘がなくて、ガバナーが舞台上で探すというハブニングでした。どんな協議会になるのかと心配をしましたが、色んな意味で勉強になりました。

全体と第1分科会の報告をさせていただきます。次年度のRIの会長が、埼玉県八潮市の八潮RCの田中作次さんです。日本人では3人目のRI会長です。この方の経歴を見ますと、地区の奉仕委員会の担当を多くされていたこともあり、次年度のテーマと強調事項に表れていると思います。来年度のRIテーマは、「Peace Through Service 奉仕を通じて平和を」です。強調事項は、「ロータリー・クラブと地区による平和活動」で、1 クラブや地区の平和フォーラムを開催する、2 地域平和フォーラムを開催する、3 国際双子クラブによる協力関係を結ぶ、4 ロータリー平和フェローを推薦する、5 紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する、です。平和がテーマなので、ロータリー世界平和フォーラムの推進ということで、11月30日～12月2日にドイツのベルリンで、1月25日～27日はアメリカのホノルルで、5月17日～18日は広島で、それぞれ平和フォーラムが開催されます。そして、世界大会が6月にポルトガルのリスボンで行われます。

この「平和」は戦争のない平和だけではなく、戦争や暴力や恐れることのない状態のこと、飢餓や弾圧や貧困のない状態のこと、安全や安心などが平和ということ。では、ロータリーは何をしたら、この平和に繋がるのは、やはり奉仕活動をやってほしいということです。出来るだけ、健康、衛生、食料、教育などの活動をしてほしいとのことです。フォーラムも開催してほしいとのことです。今までにはなかったスタイルだと思います。

地区ガバナーは、名古屋東RCの千田毅さ

んです。地区ガバナーの方針は、「Touch the Rotary ふれあい、思いやり、そして握手」です。その中に、会員の増強、東日本大震災の被災高校生の支援、地区内交流の活性化、オンツurisポソンがあります。

会員の増強は、現在 4900 名弱で、目標は 5000 名です。東日本大震災の被災高校生の支援は、3 年間のプロジェクトで、親を亡くした宮城県と岩手県の高校生 30 名を、3 年間援助します。来年の 4 月から、一人当たり毎月 3 万円の 3 年間支援することが決まりました。そのうち、東三河分区では 4 名の高校生の支援をしていきます。3 年間、皆さんの協力をお願いします。それから、地区内のクラブの交流をします。互いにクラブ訪問をして交流をするプロジェクトで、当クラブは、名古屋みなと RC と交流することが決まっています。数名で例会に参加したいと思っています。最後にオンツurisポソンは、RI 会長が日本人なので、国際大会に地区内のロータリアン 100 名の登録をお願いしたいとのことでした。

第 1 分科会は、クラブ管理運営部門で、テーマは「奉仕を通じて平和を」でした。会員が減っているのに委員会が増えている。もう少し委員会を減らして運営を考えないといけないという意見が出ました。それから、女性会員をもう少し増やしていきたいというような話もありました。

## 第 2 分科会報告

### 河本圭史次年度雑誌広報委員長

第 2 分科会の報告をします。クラブ奉仕部門で、テーマは「ロータリーを理解し、クラブを活活化しよう」でした。IT 委員会について、広報活動について、ロータリーの友の活用についての話がありました。



IT 委員会については、地区のホームページについてのお願いと内容説明がありました。地区でレンタルサーバーを借りて、ガバナー事務所関係のデータの共有を図っていくとのこと。1949 年度の月信までさかのぼって、ホームページから閲覧できるように準備を進めているとのこと。

広報活動については、ロータリーの魅力が伝えきれてない部分があるので、わかりやす

く地域に伝えることで会員増強にも繋がると考えて、中部経済新聞にロータリーのページが設けられています。将来的には中日新聞や朝日新聞にも出せるようにしたいそうです。地区のホームページをハブにして、各クラブの情報の交換や共有も考えているそうです。

ロータリーの友の活用については、できれば過去 4 年分は各自で保存して頂いて、年度の月ごとに整理して活用頂きたいと共に、友への投稿もお願いしたいとのことでした。

## 第 3 分科会報告

### 杉浦節子次年度職業奉仕委員長

第 3 分科会に出席しました。職業奉仕部門で、テーマは「ロータリーの職業奉仕について」でした。職業奉仕とは何かとい



うことで勉強させて頂きました。「もっとも良く奉仕する者は、もっとも多く報われる」について、四つのテストも鑑みながら、自分の仕事を一生懸命やって、例会に出席して、いろいろと話をして、みんなで問題点を解決して、それを自己の仕事に反映させて、いつもお客さんのためにというスタンスで考えましょうということです。実に簡単なことなのですが、とても大変なことです。ここを集中的に勉強しました。

## 第 4 分科会報告

### 堀田卓嗣次年度社会奉仕委員長

第 4 分科会は、社会奉仕、RCC、環境保全の 3 つの委員会の内容説明でした。テーマは「社会奉仕を通じて平和を」でした。



社会奉仕は、原則原理の話が多かったです。1992 年の規定審議会の声明を紹介しますと「ロータリーの社会奉仕は、ロータリアン一人一人の個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理想を提供することを奨励、育成することにある。」というような説明がありました。

RCC は、ロータリー地域社会共同隊で、全国に 100 ぐらいしかないそうで、地区内では 10RC で 12 の RCC があるそうです。目的は、

一般の人の奉仕活動をロータリーがサポートして、継続事業的な内容の社会奉仕で、RCCにも理解を深めて増やしてほしいそうです。

環境保全については、循環型社会において持続可能な社会をどうするかについて、委員長の想いについて話がありました。

### 第5分科会報告

大島嗣雄次年度国際奉仕委員長

第5分科会は国際奉仕でした。テーマは「国際理解を深め、奉仕を通じて平和を実現させよう」でした。



当クラブの本年度の活動は、地区のWCS事業に一任をしました。その事業がまだ遅れていて、6月の事業終了後に報告があるそうです。地区内の活動状況は、単独で海外と事業のやり取りをしているのが40%、地区の事業に一任しているのが20%、中止や活動をしていないのが40%。単独事業を行っているクラブは非常に少ない状況でした。来年度については、このような流れを見ながら、クラブで何が出来るか考えていきたいと思えます。

過去に地区が海外で行った事業でたくさんの費用をつぎ込んだが、相手地区内のクラブで山分けをされていたという事もあったそうです。海外との提携事業については、十分に情報収集が必要であるとの話もありました。

### 第6分科会報告

藤原規彰次年度新世代奉仕委員長

第6分科会の新世代奉仕の報告をします。テーマは「新世代奉仕活動・理念の実践とその課題解決に向けてパート」でした。



新世代奉仕の理念は、新世代の健全育成であり、これは成果の確認ができない、数値では測れない難しい活動であり、時が経過して、この理念が薄くなってきているのではないかとの話がありました。そして、分科会の中を、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換の4グループに分かれて話し合いを行いました。私はライラのグループに入りました。ライラセミナーについての

話がありました。将来の指導者を育成する観点から、次年度は82クラブから各2名の参加要請がありました。グループ別のテーマ「なぜセミナーに参加できないか」「参加しやすくするにはどうしたら良いか」について話し合いが行われました。

### 第8分科会報告

小野喜明次年度米山奨学委員長

第8分科会は、米山奨学委員会でしました。テーマは「奉仕を通じて平和を、米山奨学事業は日本を、世界を支える力」と題して行われました。米山奨学金とロータリー財団は別のものであるという強調した話でした。



### 第9分科会報告

柴田浩志次年度副幹事

第9分科会は、研修部門で、会長エレクト、副幹事、R情報委員長が参加をしていました。テーマは「入りては学び、出では奉仕」でした。ディスカッション形式で行われ、新入会員の研修の仕方について互いに意見を言いました。研修は年に1~2回の研修を行っているクラブが殆どでした。



### ニコニコボックス

- 大沢茂樹会員 誕生日を祝って頂き
- 井指光基会員 "
- 大木悦子会員 "
- 大木健市会員 "
- 富田高子会員 入会記念日を祝って頂き

クラブ目標：会員増強純増	2名
クラブ目標：R財団寄付額	\$100/人
現在の状況	
会員増強	純増0名
R財団寄付額	\$81/人

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員  
このウィークリーは再生紙を使用しています。